

知事発言・語録から見る知事の政治姿勢

自民改革会議 県政検証プロジェクト

知事発言・語録から見る知事の政治姿勢

◆独断先行を繰り返す発言！

○空港部の廃止

知事発言	<p>[2009年8月27日(木) 記者会見]</p> <p>空港部の役割は終わったかなというふうに思います。これは元建設部にあった、あるいは企画部にあった、いくつかの局を糾合しまして、空港部として3月の開港に向けて、部として立ち上げた訳であります。これは、2年程度前の夏だったと思いますが、この夏に建設部が目的にしていた2500メートルの完全開港ができました。今度は、今やっておりますような全庁をあげての利活用ということになりますので、これは空港部だけの仕事ではないということは各部局にご理解いただいております。</p>
会派意見	<p>発言のきっかけは「全国の空港所在自治体に空港部を置いているところが無い」とあり、上記の発言は空港開港さえ済ませれば県の重要施策から外してしまう感が否めない。</p> <p>重要なことは、開港後の社会資本としての運用を専任して取り組む部局を持ち、県民が安心して利用でき、災害時の拠点としての活用策まで開港時から備えることである。他の自治体が無いから廃止すべきであるというほど簡単に済ませることではない。</p>

○富士山の日条例

知事発言	<p>[2009年11月27日(金) 記者会見]</p> <p>(記者)2月23日の「富士山の日」について、急に話が出てきたのではないか、突飛ではないかという意見を持つ方がいます。</p> <p>(知事)突飛という言い方はおかしいと思います。個人的に言えば、2年余り前から、富士山を世界遺産にするための学術委員会で委員長をしておりました。</p> <p>静岡県は「ふじのくに」です。この県でできなければ、他の県には到底できません。善は急げということです。</p> <p>實際上、富士山を大事にしてきたことについては人後に落ちません。それを確認しましょうということで、来年2月23日にはその日を持ちたいということであり、唐突だというご批判には当たらないと思っています。個人的にも、これまでの富士山をめぐる環境に対しても当たらないと思っています。</p>
会派意見	<p>知事発言は政策として十分な議論を重ねた末のものではなく、ご自身の思い入れにより後付けで「富士山の日」制定を進めたものと思われる。</p> <p>「他の県には到底できません。」と発言されているが、実際には山梨県河口湖町では、本県より早く富士山の日を2月23日としている。制定することに異を唱えるものではないが、独断専行的な政策の提言であったと言わざるを得ない。</p>

○広域処理場の設置

<p>知事発言</p>	<p>[2011年11月2日(水) 市長会・町村会との意見交換会] (富士市長)震災がれきの受け入れについて、「市町村に事前の相談がない。県の考えだけが先行すると、せっかくの良い施策が台無しになる。」 「ごみ処理は市町村の業務であり、ごみ焼却場や最終処分場の建設、地元対策などで日頃から苦勞している。手順を踏んで欲しい。」 (知事)「がれき処理は被災地だけではできない。余力の1%から支援を始めたい。」県は最終処分場を持っていません。 で、私はそれについて要求がこれまでも何度もなされてきたということは存じ上げませんでした。本県におきましても東日本大震災に匹敵するような東海地震が起こった場合に3600万トンのがれきが出る。</p>
<p>会派意見</p>	<p>がれき処理については県は焼却施設を持っていない。にもかかわらず、県内各市町の首長に事前の相談もなく一方的に話を持ち出した。その為に市長会会長である富士市長からの言葉にあるように良い施策が台無しになるとの発言は当然のことである。 まず現状を把握したうえで自治体ごとに丁寧に協力要請を行い結果として県内のがれき処理の容量が積算できるものであり、ただ単に余力の1%などと発言すべしものではない。</p>

○議員の副知事登用問題・副知事3人体制提案

<p>知事発言</p>	<p>[2011年4月11日(月) 定例記者会見]</p> <p>【3人目の副知事について】それから、これは、ここから発表するのが適当かどうか十分に幹部とは相談してはおりませんけれども、5月から新しい議員、先生のもとでまた、補正予算について議論をしていただくと、6月は6月補正予算について議員の先生方としっかり議論をしなくてはならないもの、例えば津波対策であるとかエネルギーの基本を自然代替エネルギーへ、私は太陽光パネルに替えていこうと、ここに大きく踏み出そうとしております。</p> <p>こうした本県における、エネルギー供給源をどうするのかということについて、徹底した検証と、そういった対策と政策を打ち出して、6月の補正の時に議論していただくとは思っています。そうした5月6月の補正を政策的にしっかりリーダーシップをとってやっていくために、今三人目の副知事を考えております。もし今週中に、本人の承認をいただければ、その方を副知事をお願いいたしまして、そしてなるべく早く仕事をさせていただこうと思っておりますので、来週には発表を申し上げる事ができると思います。</p> <p>そして、来週中に議会の招集をしようと思っております。開会の1週間前に召集するという規定がございます。4月28日が最終日でございますので、28日には、議長、副議長が退任される退任式でも準備されているということでございますから、その1週間前には、招集をかけて、そして、ご承認を賜らねばなりません。これは議会における同意事項でございますので、同意をしていただくというふうに思っております。今の副知事は、それぞれ国の官僚、そして県庁の官僚としてすばらしい、そのメリットがございます。</p> <p>それと同時に、どうしても、政治的な判断ということにつきまして、あるいは政策的ないわゆる政治主導ということにつきまして、私としまして、もう一人、ぜひ、相談相手を欲しいと思っております、政治家経験者、そして、本県の事をよく御存じで、会派を問わず信任をされたことがあるという経歴のお持ちの方を考えています。</p> <p>(会見後知事のコメント)本日の定例記者会見における副知事選任に係る私の発言は、3人目の副知事の必要性に対する思いを伝えたものです。なお、4月28日までに議会の招集する旨発言しましたが、議会に諮っていく時期など選任手続きについては、今後、議会と調整を行ってまいります。</p>
<p>会派意見</p>	<p>この発言は県議会議員選挙、翌日のものであり、新たに民意を得て当選された新議員の任期開始を待たずして元の議員構成の中で臨時議会での副知事選任を諮ると言う直近の民意を無視したものだ。</p> <p>さらには、副知事が一名増員となれば年間3000万円の財源を要することなどから賛同すべきことではない。</p>

◆決断力の欠如により迷走する発言！

○沼津駅周辺整備事業(鉄道高架化)

<p>知事発言</p>	<p>[2011年6月27日(月) 有識者会議の報告書を受けての記者会見] 今の貨物駅のままでは高架化はできないと報告書にある。ただ貨物駅を移すのか、あるいは必要なのか、あるいは移すにはどの場所がいいのかについてはオープンです。 私が職務にある限りは強制収用はしない。最後まで話し合う。議論の余地は相当あると思う。(議論の余地と言うのは、貨物駅の移転なしでの高架化事業の推進と言うことか。)その余地もある。 [2012年3月2日(金) 議会答弁] 高架に関しては、沼津市街地の方々の悲願であることは承知しており、必要性も理解している。 そのための事業を推進するにあたって、人の心に亀裂が生じてはならない、今しばらくお時間を頂きたい。</p>
<p>会派意見</p>	<p>鉄道高架事業は、2003年に着手して以来10年近くの歳月が経過、この間800回を超える事業説明会が実施され、2010年9月には「事業の妥当性の検証」目的で有識者会議を発足、その報告書では、「鉄道高架事業は、効果的な事業であり、貨物駅の移転先については、現計画の妥当性を確認。」との結論を得たにもかかわらず、更にPI方式の導入や寝耳に水の吉原への移転発言も含め、用地買収によるイメージダウンを避けるためと思われる手法や発言は、無為に時間を費やし、結論を先送りし、多くの市民の混乱を招き、今後の事業の進展に危惧を抱かせるばかりである。</p>

○日航への搭乗率保障問題

<p>知事発言</p>	<p>[2009年8月27日(木) 記者会見] 搭乗率などというものは、倫理として受け入れられない。倫理的に受け入れることができない、誰にも説明できないものは、そもそも認められないと思っている。 [2010年5月28日(金) 記者会見] (日本航空運航支援金請求に対して)筋を通すという形での姿勢は明確です。運航支援金は支払わない。支払うべき筋のものではないということです。</p>
<p>会派意見</p>	<p>前知事時代に県が日航とかわした搭乗率保障、運航支援金を一方的に理不尽だとみなし、その取り下げ、白紙撤回を求めたことから日航との信頼関係が崩れ訴訟となり、結果として、1億5000万の補償額を支払い、未だ日航の乗り入れも実現していない。 白紙撤回ではなく、議会の付帯決議に基づき、重要喚起策、運航規模の見直し(3便からの減便策、使用機体小規模化等)を、日航と丁寧に細かく協議していれば、日航との陰悪な関係、裁判にまでならなかったのではと思う。</p>

○TPP賛成論

<p>知事発言</p>	<p>[2010年11月9日(火) 新聞報道] (TPPIは)海洋国家日本が進むべき道であり、品質が格段に高いふじのくにの農芸品を得るための絶好の機会。消費者にとって、価格は品質と同じくらい重要。品質面で本県の農作物にかなうものは海外にはほとんどないと自負している。 TPPは恐るるに足りない。本県の農産物は十分に品質競争に耐える。本県関係者も自信を持ち、外気にさらす勇気を持ってもらいたい。 [2011年11月1日(火) 新聞報道] 議論の中で不足している情報を得るためには、交渉に参加する以外に道はない。環太平洋地域の自由貿易化は重要、価格を共有するところと連携し、日本は先進国と言うべきことを言わなくては。怖いものから目をそらすのでは駄目だ。</p>
<p>会派意見</p>	<p>政府与党内にも賛否両論があり意見の統一ができていない段階で、他国との交渉権を持たない一自治体の長たる知事が、一方的な意見を公に発言する姿勢には疑問を感じざるを得ない。 知事としては、参加すべきとの考えを展開するだけでなく、交渉参加反対も含め広く県民の意見を聞きつつ、国へは統一見解の確立を求め、TPPが県内産業全般に与える影響とその対策についての県としての対応を具体化して、県民の不安感を払拭することこそ重要と考える。</p>

○石雲院展望デッキ(県産材の活用について)

<p>知事発言</p>	<p>[2011年9月議会 大池議員に対する答弁] 石雲院のデッキの材料ですが、いうまでもなく県産材でなければならないということが前提です。 [2012年6月議会 大池議員に対する答弁] そうしたシンボル性の高い建築物の1つが石雲院の展望デッキでございました。誠に残念なことにこれを作るに際しまして、イペ材ということに決定したわけです。石雲院のデッキは風雨に晒されるところでございまして、涙を吞んで申し上げておきたいと思っておりますけれども、イペ材にしたということでございます。 一番最後まで抵抗しまして、圧縮材につきまして、育てなくてはいけないという気持ちを持っております。 [2012年7月3日(火) 静岡新聞] 「誠に残念だがデッキは風雨にさらされる。イペ材は10年ぐらい水に漬かっても堅さが弱くならないほど長持ちする。」と、安全性と耐久性を考慮して決めたと説明。</p>
<p>会派意見</p>	<p>デッキ材料は県産材といっておきながらブラジルのイペ材に決定。そしてまた、圧縮材を利用するなど答弁が迷走。</p>

◆決断力の欠如により迷走する発言！

○家・庭一体の住まいづくり

<p>知事発言</p>	<p>[2009年12月議会 高田議員に対する答弁より] 家・庭一体の家庭というような住まい方ができないものか。2DKという生活の55年体制を踏まえつつも、そういう住まい方も良い。若干里山に近い方で、森林側か農村側かその地域で家・庭一体の生活ができるような空間を確保して・ [2010年12月議会 込山議員に対する答弁より] 家・庭の崩壊した家という名の箱の中に住んでいるとこれを取り戻そうというのが家・庭一体。所有から利用へという基本方針。少ない負担で土地や住宅が利用できる。 [2011年2月議会 藤田議員に対する答弁より] 林業県産材というものを励ましていくために、重要な施策である。そして、家・庭一体、家庭の回復になる。結果的に個人消費が拡大し、県に好循環が戻ってくるということで、幸せと経済の2つの循環がうまく働くようにということを目指す。</p>
<p>会派意見</p>	<p>県が定期借地・定期借家でやることは、すでに多くの不動産会社が行っている。また、県が少数の県民の為だけに何十年の定期借地を行うのは、いかがなものか。これを行うことにより県産材の利用がのびるということも考えにくい。</p>

○医科系大学の静岡県誘致

<p>知事発言</p>	<p>[2010年12月10日(金) 議会答弁] 現時点で具体的な工程を示すのは中々難しい。しかし、長くても2年半、すなわち私の在任期間中に、必ず目処を付ける。来年の今頃にはクリスマスプレゼントとして出せるよう全力を傾注したい。 [2012年2月28日(火) 議会答弁] これまでも様々な場において、誘致活動を行ってきたところです。今後とも、国に対する働きかけを継続するほか、その動向を注視しつつ医科大学誘致の実現に向けて、引き続き学校法人や県内関係者との話し合いを進めてまいります。</p>
<p>会派意見</p>	<p>マニフェストでは、誘致を目指し1年以内に着手するとあり、確かに着手はした模様であるが、現在までの発言からは、具体的な医大誘致の見通しは立っていないようであり、県民に期待を持たせただけの結果に終わる可能性が高いと推測される。</p>

◆有徳の人に反する発言！

○自民党大会後の記者会見

知事発言	<p>[2011年5月23日(月) 記者会見]</p> <p>この国難の中で危機感とか、国難をどのようにそれぞれの先生方が受け止められているか。議員諸氏が、あるいは自民党のリーダーの方々が集まっておられた、その会場の雰囲気ですが、今国難の只中にいるという感じを受けなかったですね。</p> <p>私は今、臨戦態勢にいるということで、県庁は3月11日から、58年ぶりの臨時議会を開いて、予算を組む、クールビズもとりあえず、できることからやっていくということですが、相変わらず年次的な大会のひとつであったのかなと。</p> <p>私はもっとですね、熱気にあふれ、すごいパワーを感じるかと思ったんですが、塩谷先生を除いて皆、原稿を読んでいるような感じだったので、なんとなく拍子抜けでした。</p>
会派意見	<p>我が会派議員が所属する自民党大会は議事に乗っ取り粛々と行われるべきもの。一年を総括する礼節を重んじる行事であり討論大会のように声高らかに論議するべきものではない。その意味が理解していないうえにあたかも知事御自身のアピールに使われたことに憤りを覚える。</p>

○大村副知事の突然の退任

知事発言	<p>[2011年12月13日(火) 記者会見]</p> <p>地方自治に御指導いただいた総務省に対してお礼を申し上げ、大変喜んでいるということをお知らせしたわけですが、そうしたことを考えますと私といたしましては今まで最高のエリートを総務省・旧自治省が本県に送ってくださって御指導いただいたということで、今度の旭日大綬章というのはその総仕上げということで、できれば私達だけで今度はやるということで、向こうとしてはまた出しましょうかというお話もあったのですが、しばらく見守ってくださいということでその要請は目下の所はお受けしていません。</p> <p>新しい人を送る用意はあるということですがけれどもその要請は見守ってくださいということでお受けはしていないということでございます。副知事は目下のところ決まっています。地方分権というのは民主党政権の一丁目一番地でございます。そして、それは自ら治めるといことなのでこれまで特に総務省が中心にそういう自治に関して中央政府からのご指導をいただいたわけですがけれども、自治の本旨に願って自ら治めるとい観点からすれば域内からその仕事に就いていただくのが望ましいのではないかと。</p> <p>何も生え抜きとかあるいはOBとかいうことではなしに、前の副知事人事もそういう観点で、すべての県議が尊敬を通して満場一致で選んだ議長経験者ということで進めたわけですが、ちょうど選挙の終わった直後という事で皆さん綱を渡っておりましてなかなかそういう時期がふさわしくなかったということで退けられました。基本的な姿勢といたしましては何か中央から引っ張ってきてお願いをするということは目下のところ考えていません。</p>
会派意見	<p>知事は国の事を「中央政府」と発言され本県を「地方政府」と呼ぶ。総務省は各自治体と最も信頼関係を構築すべき国の機関であり人的交流は政策の共有化に欠かせない事から、今回の総務省からの善意を踏みにじるものとなった。</p>

○副知事選任案可決後の発言

知事発言	<p>[2012年4月19日(木) 静岡新聞]</p> <p>「反対今もわからず」知事不満あらわ県議会臨時会での副知事人事案の可決を受け、川勝平太知事は18日、記者団の取材に応じた。2月定例会で反対した人事案に自民改革会議が賛成したことに「反対された理由が今でもよくわからない」と不満をあらわにした。</p> <p>知事は「反対理由は本当に県政のためにならないということだったのか大義名分があったなら(今回も)貫くべき」と批判した。副知事人事をめぐる一連の混乱には「いたずらな徒労をしなくて済むような関係を築いていかなければ県民に迷惑がかかる」と述べ、自身と自民の双方に反省点があるとの認識を示した。</p> <p>自民側が求めた「根回し」には「インフォーマルな形での意志疎通に関心を払わず、潤滑油的な人間関係に欠けるところがあった」と振り返った。</p>
会派意見	<p>前回と同じ顔ぶれに賛成したのではなく副知事は二人制が相応しいものとして今回は賛成したもの。会派として何度も議論を重ね合い当然の事ながら県民の為に無駄削減の理由で三人制に反対した事を忘れている。</p>

○教育委員会への批判

知事発言	<p>[2012年4月23日(月) 記者会見]</p> <p>従来教育長というのは、何と言いますか、本県で言いますと、高校の校長先生の経験者。しかも特定の高等学校。いくつかいわゆる一流高等学校と言われる中から選ばれるということで、ハイアラーキカル(階層的)なシステムになっているわけですね。</p> <p>そこの一番上の長に立つと。だから高校それ自体の一種の序列という物の中で校長先生が一流の高校の校長先生になる、そうすると次は教育長になる、そうすると次はというふうな形は本県の特徴的な形のものでございますけれども、ある程度、教育長というものについての先生方における共通認識はあると思いますね。それは本当に優れた先生かは分からないでしょう。</p>
会派意見	<p>歴代の教育長就任までプロセスを皮肉った発言であり、あたかも教育長になられた方々を優れた人物であるかわからないとの旨でその事でどれだけ多くの県民に失望感を持たせたか無限大である。教育委員会の中にも反感を覚える方も増えるのではないかと懸念される。</p>

○浜岡原発県民投票条例

<p>知事発言</p>	<p>[2012年5月14日(月) 記者会見] 住民投票に訴えかける前にやることもあるだろうというのが現在の私の考え。住民投票をやる場合には、相当な税金が使われるので、たとえば知事選に引っ掛けてやるとか…。拘束力のないものを住民投票で、空港の問題がかつてそれでした。</p> <p>[2012年5月28日(月) 記者会見] (住民投票が)、原発を止めるための意思表示だとするならば、原発についてどうすれば安全になるかといったような議論が併せておこらないと。不安だから止めた方がいいという形での住民投票の要求だと具合が悪いなという懸念は持っております。</p> <p>[2012年7月27日(金) 記者会見] ・方針は、安全性を高めていく。そのためには出来ることを全てやる。これは、再稼働か廃炉かという、そういう二者択一ではないでしょう。 ・これは危険だからということでノーという、そこにまだ至らないまま、「嫌だ」「嫌いだ」というレベルも入っているかのように見えます。このあたりのところに関しては、若干の危惧を感じます。条例案それ自体が〇×ですから。</p> <p>[2012年8月27日(月) 記者会見] 16万5千人の署名は重い。県民の意見を尊重するのが民主主義で否定する理由はない。国会議員などの政治家不信から出てきた話で、そういう人の意見をくみ上げたい。</p> <p>[2012年9月10日(月) 記者会見] ・国民の意見をしっかり聞くというその方法の一つとして、条例による全県民の投票というのは是非実現させてあげたい。 ・今回の条例案は、百点満点中20点の出来で、条例としての体をなさない。請求者は、18万人の請求者に対し、修正案について説明と釈明をすべきだ。</p> <p>[2012年9月19日(水) 9月定例会条例案意見書] ・県民一人一人が意思を表明する機会を逸することは、妥当ではない。 ・条例案には問題点が多数あり誠に遺憾。適切に修正し、県民投票が適正かつ円滑に実施できる方向で議論してほしい。</p> <p>[2012年12月17日(月) 議会答弁] ・浜岡原子力発電所の再稼働の是非については、判断ができる環境が整った段階でも遅くない。 ・修正案も主体性を持って、県議の皆様からご提案いただいて、県議会で審議いただくことの方に意義があるのではないかと考えており、私はその環境整備に邁進したい。</p>
<p>会派意見</p>	<p>当初、住民投票には否定的な発言をしていた知事は、9月定例会直前、突如、賛意を示した意見書を付し、議会に提出したものの、条例(案)・修正(案)共に否定された。これを受け、知事は本件については、議会で再検討して欲しい旨発言しているが、議会は一端結論を出しており、賛意を示した知事自身が何も検討しようとしなないのは疑問である。</p>

○オフサイトセンター整備事業

知事発言	<p>[2012年11月2日(金) 静岡新聞]</p> <p>下地幹郎防災担当相は、川勝知事と会談し、知事は、静岡空港にオフサイトセンターを整備する為の関連費用を12月補正予算案に盛り込むことを紹介した。</p> <p>しかし、12月27日の原子力安全協議会において、御前崎市長・牧之原市長からオフサイトセンター移転の話は、『説明がない』という発言があった。</p>
会派意見	<p>知事は自分の判断だけで、地元の首長に何も説明がなく、発言実行している。</p>

○知事の中傷発言

知事発言	<p>[2012年11月5日(月)]</p> <p>牧野民主党静岡県連会長と対談した時、『私はノーサイドでやっている。義理と人情ある私としてはつらいが…』と発言。</p> <p>しかしながら、静岡市内で1月9日に開催された連合静岡議員団の総会での講演で自民党県議のイニシャルを挙げ、『あまり勉強しない先生がいて』と毒を吐いた。</p>
会派意見	<p>知事の発言には、一貫性がない。</p>

○知事のマニフェスト達成状況の認識について

知事発言	<p>[2012年11月5日(月) 東京新聞]</p> <p>マニフェストグランプリで私のマニフェストは、就任9カ月で90%以上達成した、と実績を強調した。</p>
会派意見	<p>自民改革会議の知事マニフェストの検証では、約40%である。</p>